

令和4年度熊野古道協働会議 第1回分科会

Aグループ（持続可能な保全体制づくり）

令和4年6月29日 熊野古道協働会議事務局 作成

1. 分科会の目的

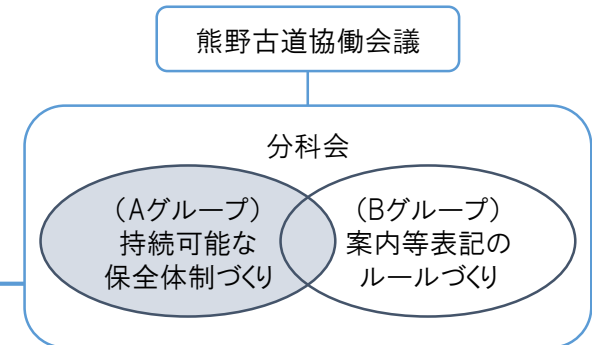
○関係団体の担い手確保

企業のCSR活動によるご協力を得るなども含めた新たな担い手確保策の積極的導入
臨機応変に保全活動を支援できる仕組みや方法についても検討

○保全活動に係る資金確保

クラウドファンディングなどあらゆる資金確保策を検討

○バッファゾーンの森林管理のあり方



【参考】「熊野古道アクションプログラム3追記編」の抜粋

P8 課題

持続可能な古道保全の仕組みを直ちに構築する必要がある

P16 本プラン期間中の目標【新】

世界遺産登録25周年を迎える年には、伊勢路全域で持続的な保全の仕組みが構築されていることをめざし、分科会で検討し**工程表を作成**します

P17 【(1)守り伝える体制 全般への追記】

・企業のCSR活動によるご協力を得るなども含め新たな**担い手確保策の積極的導入**や、**あらゆる財源確保**を試みることも含め、**持続可能な「仕組み」**として今後の保全体制を検討する分科会を立ち上げます。
・バッファゾーンの森林管理のあり方についても、同分科会で議論します。

P18 【追記】

・持続可能な保全体制を検討する分科会において、臨機応変に保全活動を支援できる仕組みや方法についても検討します。

2. 分科会の参加者

* 以下のコアメンバーのほか、熊野古道伊勢路にご関心のある方は、どなたでも参加できます。

座長	玉津 充 氏（海山熊野古道の会）
副座長	西山 光雄 氏（二木島峠・逢神坂峠世話人会）
	奥村 清司 氏（熊野古道伊勢路を守る会）
委員	三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課
	熊野古道伊勢路沿線市町の文化財保護担当課 （伊勢市、玉城町、多気町、大台町、大紀町、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町）
	一般社団法人東紀州地域振興公社
	三重県（紀北地域活性化局、紀南地域活性化局、南部地域活性化局）

3. スケジュール

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1回分科会	●—工程表(素案)の検討—●		第2回分科会	●—工程表(中間案)の検討—●		第3回分科会	●—工程表(最終案)の検討—●	第4回分科会	協働会議
●—保全団体への調査—●		●—ヒアリング—●	●—担い手確保策や資金確保策の検討—●		●—実施・検証—●				●—工程表確定—●	●—工程表完成の報告—●
	●—現状把握と課題の整理—●		●—先進事例の研究—●			●—サポーターズクラブ活動—●				

4. 現状と課題

「熊野古道アクションプログラム3追記編」の策定プロセスにおける関係者へのアンケート結果より

○関係団体の担い手確保

- ・保存会の会員数が不足しており、しかも高齢者ばかりで若い人の力が必要不可欠。今後の活動を支えていくためにも、支援・援助が必要。
- ・サポーターズクラブも年に1回とかでは、地域と密着しておらず顔が見えない。定期的かつ組織的なボランティアは歓迎。

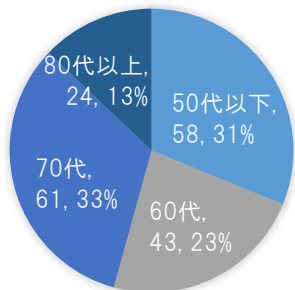
○保全活動に係る資金確保

- ・資金もなく、何をするにもボランティア精神で頑張っているのが現状。

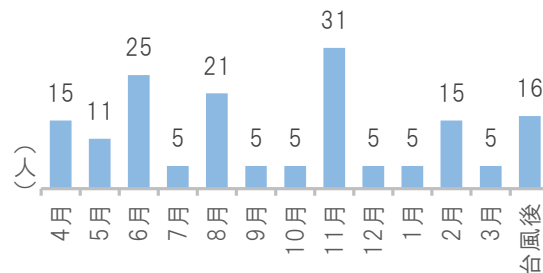
現状把握のための保全団体への調査結果より

- *5月中旬～6月中旬にかけて、保全活動の現状と課題を把握するために、保全団体あてに調査を実施させていただきました。各団体ごとの状況は、別添の一覧表をご参照ください。今後、訪問して詳細な聞き取りを行っていきます。

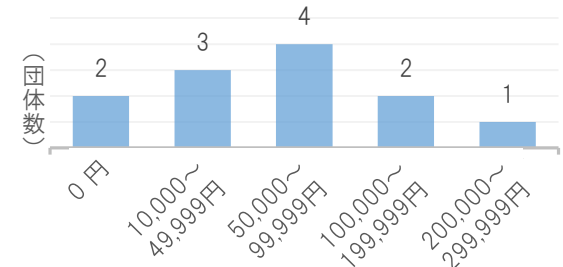
活動人数(年代別)



不足人数



自主財源
(補助不足分)



5. 意見交換

○関係団体の担い手確保

- ・保全団体の高齢化・人数不足について
- ・ボランティアの受け入れについて

○保全活動に係る資金確保

- ・活動経費の使途について
- ・不足分と必要な支援について